

あいさつ運動の好事例

岡山県立岡山操山中学校

(生徒359名 教職員数23名)

朝来たらあいさつ運動

アピールポイント

以前は、生徒間、教職員と生徒の間で、一方があいさつをしても返ってこない、自分からあいさつをする生徒が少ないといった状況であった。しかし、このあいさつ運動を通し、生活委員だけでなく登校した生徒があいさつボランティアとして活動の輪に入り、積極的にあいさつを行うようになった。今では進んであいさつをする生徒が増えている。また、あいさつによって生徒同士や生徒と教員との間が密になり、お互い話しやすい環境になり、学習活動でも意欲的に意見を交わす雰囲気ができた。



取組の概要

■生徒の実態

本校は素直で明るい生徒が多い。また、男女の仲もよく、お互いに気兼ねなく雑談をし、授業中も意見交換を行っている。

■活動内容

月に一度、あいさつ運動を3日続けて行っている。時間は8時から約20分間。生活委員を中心に、登校した生徒がボランティアとして、あいさつ運動の輪に入って活動している。

また、この活動とは別に、交通委員が登校時にあいさつ運動と二重ロックの呼びかけを毎月行っている。

■取り組みの参加メンバー

生活委員、ボランティア生徒

■成果・効果

進んであいさつをする生徒が増えている。また、あいさつによって生徒同士や生徒と教員との間が密になり、お互い話しやすい環境づくりができています。